

2026 年 9 月 17 日
ビートレンド株式会社

顧客接点データを統合し、MROI の改善・店舗 DX の意思決定を加速させる スマート CRM 分析オプション『betrend アナリティクス』を提供開始

スマートCRMプラットフォーム『betrend』を提供するビートレンド株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：井上 英昭、以下 ビートレンド）は、2026 年 9 月 17 日（木）より、高度なデータ分析と可視化を実現する新オプション『betrend アナリティクス』の提供を開始します。

本オプションは、『betrend』に蓄積された企業独自の顧客データ（1st Party Data）を統合し、多角的な分析を可能にする分析パッケージです。データ分析の専門知識がない現場の担当者でも、クリックベースで RFM 分析、コホート分析、地図マッピングなどを実行でき、データをグラフにしてビジュアル化することで、マーケティング投資（以下、MROI）の最適化と、飲食・小売企業様の迅速な意思決定を支援します。

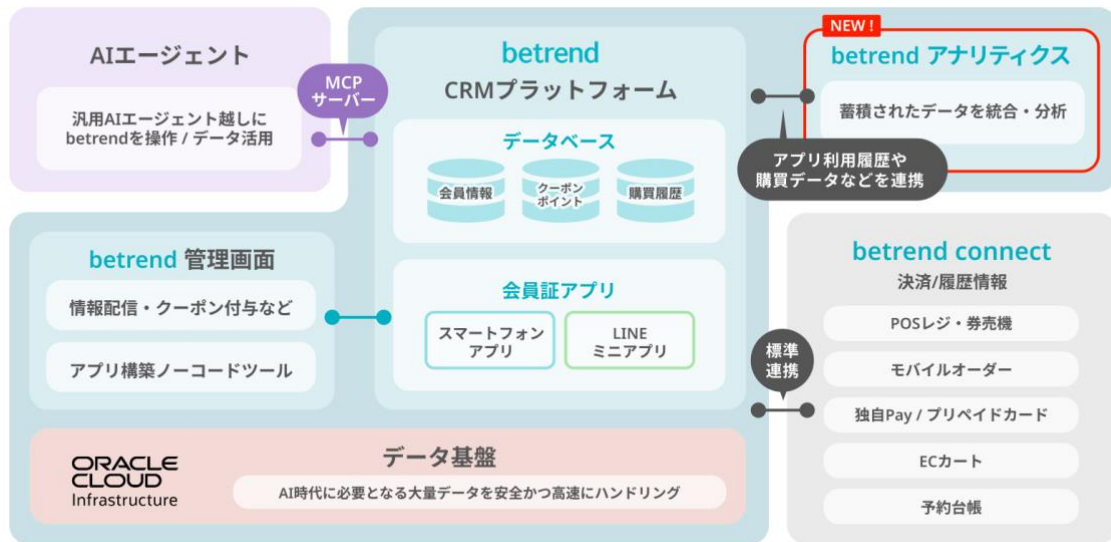


背景・社会課題

昨今、1st Party Data の重要性が高まる中、『betrend』は『betrend connect』等を通じて POS、EC、予約システム、広告など、多様な外部サービスとの連携による膨大なデータ蓄積を実現してきました。

しかし、これらのデータを詳細に分析するには、外部ツールへの書き出しや高価な BI ツールの導入、専門知識を持つ人材が必要であり、現場でのデータ活用には依然として高いハードルが存在していました。また、施策ごとの収益貢献度が見えにくく、MROI の最適化が困難であるという課題も多く聞かれます。

新オプション『betrend アナリティクス』は、『betrend』が持つ CRM プラットフォームとしての守備範囲を「データの蓄積・管理」から「高度な分析・インサイトの導出」へと拡張します。外部ツールを介さず、プラットフォーム内でシームレスに質の高い分析を完結できるほか、導入コストや分析の手間を最小限に抑えることで、現場主導の迅速な意思決定と、MROIの改善、より質の高い顧客体験（CX）の創造を支援します。



betrend 全体構成図

『betrend アナリティクス』の主な特長

本オプションは、膨大なデータの集計や複雑なグラフ作成などの技術的な作業を自動化し、現場の担当者が直感的な操作でデータ活用に取り組める以下の特長があります。

- **直感的なダッシュボードで高度な CRM 分析を自動化**

RFM 分析やコホート分析をはじめ、時間帯・曜日別の傾向分析、買上げ点数分析など、店舗運営の改善に直結する多彩な分析メニューを標準搭載。これらがすべてクリック操作だけで完結するため、顧客の動きを可視化することで、ターゲットを絞ったクーポン配信などの効果的な施策へ繋がられます。

- **『顧客マップ機能』による商圈の見える化**

会員登録データに紐づく郵便番号情報を基に、該当エリアを地図上に自動プロットし、店舗ごとの会員分布を視覚的に把握。特定の地域やランク（ゴールド、シルバー等）に絞り込んだ分析も可能で、チラシ配布エリアの最適化や、特定地域へのプッシュ通知など、精度の高いエリアマーケティングを実現します。

- **多様な外部データと連動した「顧客接点」の統合分析**

各種 POS システムをはじめ、『betrend』が連携する多様な外部サービスのデータを統合して分析。オンラインとオフラインを跨いだあらゆる顧客接点を可視化し、多角的なデータに基づいた深い顧客理解を可能にします。

- **世界的なデータ分析プラットフォームである『Tableau（タブロー）』を基盤にパッケージ化**

分析基盤には、Salesforce が提供する『Tableau』を採用。CRM に最適化してパッケージ化したことで、導入コストを抑えつつ、来店履歴やクーポン利用率など、店舗運営に必要な分析を導入後すぐに開始できます。



『betrend アナリティクス』ダッシュボード（イメージ）

オプション概要

オプション名	betrend アナリティクス
提供開始日	2026 年 9 月 17 日（木）
主な機能	売上分析／会員分析／RFM（購買行動）分析／エリア分析（顧客マップ）／クーポン集計分析、CSV・画像出力 など

今後の展望

ビートレンドは、『betrend アナリティクス』を通じて、分析から施策実行までのリードタイムを最小化し、企業ごとに最適な体験を提供するスマート CRM を推進します。

さらに、本オプションを通じて整理・統合されたデータ環境は、先日発表した『betrend Agent-Ready プロジェクト※』に向けた重要な土壌となります。将来的には、MCP サーバー対応を通じて、AI エージェントがこの強固なデータ資産に直接アクセスし、分析から施策の具体化までをサポートする世界の実現を見据え、今後も、あらゆる企業が自社データを最大限に活用できる環境を提供してまいります。

※『betrend Agent-Ready プロジェクト』に関する詳細はこちら：

<https://www.betrend.com/news/20260430>

■スマート CRM プラットフォーム『betrend』について

ビートレンド株式会社が提供する、スマートフォン・携帯電話を活用し、企業がお客様へ情報配信可能なスマート CRM システムです。スマートフォンアプリのプッシュ通知やメール、LINE などのマルチコンタクトチャネルを有し、最適な情報配信手段を利用できます。また、ご利用金額・ポイント・来店などの行動履歴を分析・活用し、お客様にあわせた効率的なマーケティング施策を支援します。飲食・小売・サービス業を中心に幅広い業種・業態での導入実績がございます。

『betrend』サービス紹介動画：<https://youtu.be/T6UYt4Q2gys>

『betrend』と『LINE ミニアプリ』の連携紹介動画：<https://youtu.be/tb8FAwCEY74>

サービスサイト：<https://www.betrend.com>

■ビートレンド株式会社について

ビートレンド株式会社は、スマートフォン・タブレット・携帯電話などを活用し、企業が顧客との接点を統合的に管理・運用可能なスマート CRM を実現するプラットフォーム『betrend』を開発。2000 年の創業以来、マーケティング手法の変化に対応し機能追加を行い、流通業や飲食・サービス業を中心に導入されています。情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS(ISO27001))認証取得のシステム運用とプライバシーマーク取得の個人情報管理体制により、安全で信頼性の高いシステムを提供しています。東証スタンダード市場上場（証券コード：4020）。

ウェブサイト：<https://www.betrend.com/company>

※本プレスリリースに記載している会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

以上

【本プレスリリースについてのお問い合わせ先】

ビートレンド株式会社 企画本部

お問い合わせ先：press@betrend.net